

シンポジウム

シェル・空間構造の応答制御と減衰

- 最近の取り組みと将来 -

応答制御と減衰小委員会ではシェル・空間構造物の応答制御・減衰機構に関する調査研究を進め、2008年3月末に、日本建築学会より書籍「シェル・空間構造の減衰と応答制御」を発売し、第7回 新「シェル・空間構造」セミナー - 応答制御が開く空間構造デザインの可能性 2008 - を開催した。本シンポジウムでは、以後に進展した研究成果、新たな制振構造、新たな計測方法を話題としつつ、シェル・空間構造や応答制御・減衰に興味を持っておられる技術者・研究者・大学院生等に、これらの分野の最新情報を提供すると共に今後の展開について話題提供し、討議しようとするものである。

<主催> 日本建築学会 構造委員会 シェル・空間構造運営委員会 応答制御と減衰小委員会
日 時：2009年12月9日(水) 13:00～17:00
会 場：建築会館3階302・303会議室(東京都港区芝5-26-20)

<プログラム>

司会：山田耕司(豊田高専)・谷口与史也(大阪市立大学)

記録：吉中 進(大阪市立大学)・水谷太郎(大成建設)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 開会挨拶 | 小河利行(東京工業大学) |
| 2. 主旨説明 | 新宮清志(日本大学) |
| 3. これまでの研究の歩み | 新宮清志(日本大学) |
| 4. 最近の減衰計測事例 | 湯川正貴(大林組)/ 平塚聖敏(日本大学) |
| 5. 音響周波数コム(ACROSS)による減衰計測方法 | 西田明美(日本原子力研究開発機構) |
| 6. 「東京スカイツリー」における応答制御事例 | 小西厚夫(日建設計) |
| 7. 下部構造降伏型空間構造における応答制御 | 中澤祥二(豊橋技術科学大学) |
| 8. 全体討議 | |
| 9. まとめ・今後の展望 | 立道郁生(明星大学) |

題名・講師等に一部変更があるかもしれません。

定 員：80名(申込先着順)

参加費：会員4,000円 登録メンバー4,500円 会員外5,000円 学生1,500円

(資料代含む・当日お支払いください)

申込方法：E-mailまたはFaxにて、催物名称、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mailアドレスを明記してお申し込みください。定員に達した場合は、お断りの方のみご連絡します。

申 込 先：日本建築学会事務局研究事業グループ 今井

E-mail: imai@aij.or.jp Fax: 03-3456-2058